

## 7. 中小小売商業高度化事業、特定商業施設等整備事業、民間中心市街地商業活性化事業、中心市街地特例通訳案内士育成等事業その他の経済活力の向上のための事業及び措置に関する事項

### 〔1〕 経済活力の向上の必要性

#### ①現状分析

本市の中心市街地には、12の商店会等（エリアを特定していない伊丹郷町商業会を含む）が存在する中、商業店舗数は令和2年には1,117店舗となるなど、増加傾向にある。業種別にみると、飲食店が365店舗と全体の32.7%を占め、次いでサービス業の342店舗30.6%となっている。エリア別にみると、中央地区が509店舗と全体の45.6%を占め、次いで西台地区の414店舗37.1%となっている。

平成28年経済センサス活動調査を見ると、小売販売額は、伊丹市全体の192,700百万円のうち中心市街地が20,638百万円となるなど、約10.7%を占めている。

伊丹市内における大規模小売店舗の立地状況（1,000㎡以上）を見てみると、市内には31件となっており、中心市街地には4件となっている。

特に、第2期計画では、歩きやすいまちなみの整備も進み、また、中心市街地活性化協議会が主催の「伊丹まちなかバル」「イタミ朝マルシェ」、さらには「伊丹郷町屋台村」などの商業者組織や地域の市民団体等が中心となったイベント等が数多く行われてきた結果、中心市街地には、「お店が多く賑わいがあるまち」（平日39.4%、休日44.3%、PTA41.7%）、「イベントがたくさん行われて賑やかなまち」（平日19.1%、休日34.2%、PTA35.0%）というイメージが高くなっている。

また、中心市街地への来街頻度も「ほとんど毎日」、「週に1～3回程度」が3分の2以上（平日85.1%、休日75.7%）を占める中、中心市街地を訪れる目的としては、「食品・日用品の買い物」（平日72.0%、休日68.4%、PTA51.5%）がトップとなっており、銀行・郵便局に次いで、「食品・日用品以外（買い回り品）の買い物」（平日23.2%、休日28.3%、PTA37.9%）、「外食」（平日21.1%、休日30.4%、PTA30.1%）、「理容・美容（散髪、エステ等）」（平日22.8%、休日27.0%、PTA22.3%）の順となっている。

中心市街地の満足している点では、「普段の買い物に便利（食料品など）」（平日79.1%、休日71.8%、PTA56.3%）がもっとも高く、これまで空き店舗解消への取り組みを進めてきたが、平成28年度の116店舗から令和2年度には129店舗へと増加した。

#### ②経済活力の向上の必要性

上記のように、第2期計画では、前述の「伊丹まちなかバル」や「伊丹郷町屋台村」など数多くのイベントを実施し、「商店街等活性化事業」をはじめ、「まちなか大規模イベントの開催・拡充」、「空き店舗出店促進事業」を進めてきたが、「地域資源」を活用した更なる回遊性向上と恒常的な賑わい創出のため、日本遺産や市立伊丹ミュージアムとの連携をはじめ、ウィズコロナ・アフターコロナに対応した新たな取り組みを進めていくことが必要であり、中心市街地においてもDXを推進することにより、来街者の特性やニーズに合わせた取り組みを進める必要がある。

また、不動産事業者等と連携して空き店舗情報を一元化し、新規創業者への効果的な情報発信を進め、これまでの空き店舗対策事業を個々(点)への支援から、各エリア(面)の価値を高める取り組みも新たに組み込む必要がある。

今後は、本計画の目標である「歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町(まち)」、「点から面へのつながりが、新たな価値を創造する郷町(まち)」、「あらゆる人に、安全・安心・快適を提供する郷町(まち)」の3つの視点から中心市街地の活性化を図る上で必要性が高く、中心市街地における経済活力の向上のための事業として、本計画に次の事業を位置付ける。

### ③フォローアップの考え方

フォローアップについては、毎年度末に基本計画に位置付けた取組の進捗状況の調査を行うとともに、必要に応じて事業の促進等の改善措置を講じる。

## [2] 具体的事業の内容

### (1)法に定める特別の措置に関連する事業

該当なし

### (2)①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

【事業名】創業支援事業

【事業実施時期】		令和3年度～
【実施主体】		伊丹市
【事業内容】		中心市街地をはじめ、市内における新規創業に対する支援を行う。
置付け及び必要性	【目標】	点から面へのつながりが、新たな価値を創造する郷町(まち)
	【目標指標】	中心市街地における1階空き店舗数
	【活性化に資する理由】	中心市街地をはじめ、市内で新たに創業する者に対し、予算の範囲内において、新たに構えた事務所、コワーキングスペースを含む店舗等の賃借料の一部を補助し、創業者の負担を軽減することで、創業を促進し、本市産業の振興及び雇用の創出を図り、中心市街地の空き店舗数の減少につなげるため。
【支援措置名】		中心市街地活性化ソフト事業 ※中心市街地活性化ソフト事業の支援対象は、中心市街地区域内で実施する分のみ。
【支援措置実施時期】	令和4年4月～令和9年3月	【支援主体】 総務省
【その他特記事項】		区域内

【事業名】 商店街等活性化補助事業

【事業実施時期】	平成 28 年度～		
【実施主体】	伊丹市		
【事業内容】	商店街の活性化に資するソフト事業等に対する補助を行う。		
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 付 け 及 び 必 要 性	【目標】	点から面へのつながりが、新たな価値を創造する郷町（まち）	
	【目標指標】	中心市街地における1階空き店舗数	
	【活性化に資する理由】	商店街等組織に対し、イベント実施やマップ・クーポン作製など商店街等の活性化を推進する事業の実施に要する費用の一部を補助することにより、商業の振興発展と商店街等の魅力向上を図り、中心市街地の空き店舗数の減少につなげるため。	
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 伊丹市中心市街地活性化協議会イベント運営支援事業

【事業実施時期】	平成 21 年度～		
【実施主体】	伊丹市中心市街地活性化協議会		
【事業内容】	「伊丹まちなかバル」等の伊丹市中心市街地活性化協議会が実施するイベントの事務局運営費に対する補助を行う。		
置 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 付 け 及 び 必 要 性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）	
	【目標指標】	「中心市街地 4 エリアにおける1日あたりの流動人口（4 エリア合計）」及び「文化施設等利用者数」	
	【活性化に資する理由】	伊丹市中心市街地活性化協議会が中心市街地において取り組む活性化事業に対し、そのイベント運営に関する費用の一部を補助することにより、中心市街地における賑わいの創出、商業の活性化を図り、来街者の増加につなげるため。	
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】いたみ花火大会の開催

【事業実施時期】	昭和 56 年度～		
【実施主体】	いたみ花火大会実行委員会、伊丹市		
【事業内容】	中心市街地隣接地域で花火大会を開催する。		
け 活 及 性 必 要 性 を 実 現 す る た め の 位 置 付	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）	
	【目標指標】	「中心市街地 4 エリアにおける 1 日あたりの流動人口（4 エリア合計）」及び「文化施設等利用者数」	
	【活性化に資する理由】	中心市街地の東側に隣接する猪名川河川敷で毎年 8 月末の土曜日に夏の風物詩として花火大会を開催し、5～7 万人の集客があり、JR 伊丹駅・阪急伊丹駅から花火大会会場までは中心市街地区域内の商店街等が経由される。その来場者に対して、中心市街地商店街が店頭販売やキャンペーン等を行うことで中心市街地全体ににぎわいを波及させることに取組み、来街者の増加につなげるため。	
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内外		

【事業名】まちなか大規模イベントの開催

【事業実施時期】	平成 10 年度～		
【実施主体】	商店街、民間事業者、伊丹市など		
【事業内容】	四季おりおりの大規模イベントの開催		
置 活 付 け 及 性 必 要 性 を 実 現 す る た め の 位 置	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）	
	【目標指標】	「中心市街地 4 エリアにおける 1 日あたりの流動人口（4 エリア合計）」及び「文化施設等利用者数」	
	【活性化に資する理由】	中心市街地では、春・秋の宮前まつり、夏のふれあい夏まつり・愛染まつり、冬の蔵まつりなど四季おりおりに大規模なイベントが開催されており、このイベントを他のイベントとの合同により実施し、中心市街地のにぎわいを創出し、更なる入込数の増加を図ることで、来街者の増加につなげるため。	
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】日本遺産連携事業 ※再掲

【事業実施時期】	令和２年度～		
【実施主体】	伊丹市		
【事業内容】	日本遺産のストーリーの魅力を伝えるイベント事業を実施する。		
け 及 び 必 要 性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）	
	【目標指標】	「中心市街地４エリアにおける１日あたりの流動人口（４エリア合計）」及び「文化施設等利用者数」	
	【活性化に資する理由】	令和２年度に日本遺産に認定された『「伊丹諸白」と「灘の生一本」下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷』の魅力を国内外に発信することで誘客を図り、伊丹酒造組合、市民団体や商業者が連携し、モデルコースの策定、講座、イベント等を実施することにより、中心市街地内のまち歩き観光を推進し、賑わい創出・回遊性を向上させることにより、来街者の増加につなげるため。	
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和４年４月～令和９年３月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】体験型周遊イベント事業 ※再掲

【事業実施時期】	令和４年度～		
【実施主体】	伊丹市中心市街地活性化協議会、伊丹市など		
【事業内容】	中心市街地内の歴史資源・文化施設や商店街等を巡る体験型イベントを実施する。		
置 付 け 及 び 必 要 性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）	
	【目標指標】	「中心市街地４エリアにおける１日あたりの流動人口（４エリア合計）」及び「文化施設等利用者数」	
	【活性化に資する理由】	街や施設を歩いて巡る、「体験型周遊イベント」を実施する。長期間の開催で密集を回避するとともに、歴史資源や文化施設等を活用した「謎解き」要素を取り入れ、通行量が低下しているエリアを含めたルート設定をすることで中心市街地内の回遊を促進することで、来街者の増加につなげるため。	
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和４年４月～令和９年３月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 まちなか DX 推進事業

【事業実施時期】	令和4年度～		
【実施主体】	伊丹市		
【事業内容】	ICTを活用した定量的なデータ収集・分析を行い、来街者の特性・ニーズに合わせた取り組みやイベント事業等の効果検証を実施する。		
置付け及び必要性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）	
	【目標指標】	「中心市街地4エリアにおける1日あたりの流動人口（4エリア合計）」及び「文化施設等利用者数」	
	【活性化に資する理由】	民間事業者の情報サービスを活用し、位置情報や検索キーワード等の定量的なデータ収集・分析を行い、行政・中心市街地活性化協議会等が来街者の特性やニーズに合わせた活性化の取組、回遊性向上のために現状把握、イベント事業の効果検証を実施することで、来街者の増加につなげるため。	
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和4年4月～令和9年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

【事業名】 公共交通を活用した中心市街地誘客事業

【事業実施時期】	令和4年度～		
【実施主体】	伊丹市		
【事業内容】	大阪国際空港（伊丹空港）と中心市街地とを結ぶ「空港アクセスバス」の利便性PRや中心市街地内でのイベント、各店舗との連携事業を実施する。		
必要性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）	
	【目標指標】	中心市街地4エリアにおける1日あたりの流動人口（4エリア合計）	
	【活性化に資する理由】	大阪国際空港（伊丹空港）の利用者を主なターゲットとして、中心市街地（JR伊丹駅および阪急伊丹駅）とを結ぶ「空港アクセスバス」の利便性向上を兵庫県などの関係機関と連携しながらPRし、利用者を中心市街地へ誘導する。  加えて、更なる中心市街地への集客・回遊性を向上させるため、大規模イベント時の特別割引乗車券の発行をはじめ、市営バス専用ICカード「itappy」の提示による中心市街地を含む市内の提携店舗・施設での割引やサービスを受けることができる制度を実施することで、来街者の増加につなげるため。	
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和4年4月～令和9年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内外		

(2)②認定と連携した支援措置のうち、認定に連携した重点的な支援措置に関連する事業

【事業名】商業活性化アドバイザー派遣事業

【事業実施時期】		令和4年度～	
【実施主体】		伊丹市中心市街地活性化協議会、商工会議所、中心市街地各商店街など	
【事業内容】		商店街等の活性化を図るための専門家の派遣を行う。	
の位置付け及び必要性	【目標】	点から面へのつながりが、新たな価値を創造する郷町（まち）	
	【目標指標】	中心市街地における1階空き店舗数	
	【活性化に資する理由】	商店街等の活性化を図るためには、イベントやサービスなど商業者の自主的な活動が必要であり、それらを支援するために実務知識やノウハウを持つアドバイザー派遣を活用するものである。中心市街地の空き店舗数の減少につなげるため。	
【支援措置名】		中心市街地商業活性化アドバイザー派遣事業	
【支援措置実施時期】		令和4年度～	【支援主体】 経済産業省
【その他特記事項】			

【事業名】エリアマネジメント促進事業

【事業実施時期】		令和4年度～	
【実施主体】		伊丹市中心市街地活性化協議会、伊丹まち未来(株)、伊丹市、伊丹商工会議所、商業者組織など	
【事業内容】		空き店舗等遊休不動産を活用した事業に取り組むことで各エリアの価値向上につなげる。	
の位置付け及び必要性	【目標】	点から面へのつながりが、新たな価値を創造する郷町（まち）	
	【目標指標】	中心市街地における1階空き店舗数	
	【活性化に資する理由】	中心市街地活性化協議会、不動産事業者、伊丹まち未来(株)、商工会議所、住民、商業者組織等が協働・連携し、空き店舗等遊休不動産を活用した事業に取り組むことで各エリアの価値を向上させることにより、中心市街地の空き店舗数の減少につなげるため。	
【支援措置名】		中心市街地商業活性化診断・サポート事業	
【支援措置実施時期】		令和4年度～令和8年度	【支援主体】 経済産業省
【その他特記事項】			

(3)中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

該当なし

(4)国の支援がないその他の事業

【事業名】 空き店舗情報バンク・マッチング事業

【事業実施時期】	令和3年度～		
【実施主体】	伊丹市、伊丹市中心市街地活性化協議会など		
【事業内容】	中心市街地内の空き店舗情報を一元化し、出店を検討している者に空き店舗や制度に関する情報を提供するための発信を行う。		
の位置付け及び必要性	【目標】	点から面へのつながりが、新たな価値を創造する郷町（まち）	
	【目標指標】	中心市街地における1階空き店舗数	
	【活性化に資する理由】	情報提供により、商店街等への出店を促すことで、中心市街地の空き店舗数の減少につなげるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 チャレンジショップの開催

【事業実施時期】	令和4年度～		
【実施主体】	伊丹市中心市街地活性化協議会など		
【事業内容】	空き店舗等でチャレンジショップを実施する。		
の位置付け及び必要性	【目標】	点から面へのつながりが、新たな価値を創造する郷町（まち）	
	【目標指標】	中心市街地における1階空き店舗数	
	【活性化に資する理由】	中心市街地の商店街などの空き店舗、空きスペースなどを利用して、起業を考えている方等に情報提供し、安い家賃で一定期間試験的に貸し出すことにより、空き店舗対策を図り、商業のにぎわいを創出し、中心市街地の空き店舗数の減少につなげるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			



【事業名】 中心市街地情報発信活用事業

【事業実施時期】	平成 28 年度～		
【実施主体】	伊丹市中心市街地活性化協議会、伊丹まち未来㈱		
【事業内容】	中心市街地のイベントや活動ニュースの集約・管理・発信を行う。		
置付け及び必要性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）	
	【目標指標】	「中心市街地 4 エリアにおける 1 日あたりの流動人口（4 エリア合計）」及び「文化施設等利用者数」	
	【活性化に資する理由】	中心市街地で行われるイベント等の情報を一元的に集約・管理し、ホームページや SNS などを中心に発信することで、情報の効率的かつ効果的な提供を行い、市内外から集客の増加を図ることで、来街者の増加につなげるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 イベント・観光情報 FM 発信事業

【事業実施時期】	平成 28 年度～		
【実施主体】	伊丹市、伊丹まち未来㈱		
【事業内容】	エフエムいたみで中心市街地のイベントや観光情報を市内外に広く発信する。		
置付け及び必要性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）	
	【目標指標】	「中心市街地 4 エリアにおける 1 日あたりの流動人口（4 エリア合計）」及び「文化施設等利用者数」	
	【活性化に資する理由】	エフエムいたみにおいて、毎週中心市街地のイベントや観光情報について放送し、市民への情報発信を行うことで、来街者の増加につなげるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】伊丹まちなかバルの開催

【事業実施時期】	平成 21 年度～		
【実施主体】	伊丹市中心市街地活性化協議会		
【事業内容】	年 2 回（春・秋）定期的に中心市街地内の飲食店を中心に食べ歩き飲み歩きイベントを開催する。		
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）	
	【目標指標】	中心市街地 4 エリアにおける 1 日あたりの流動人口（4 エリア合計）	
	【活性化に資する理由】	市内外から来街者を呼び込み、中心市街地内の飲食店で食べ歩き・飲み歩きイベントを開催することで観光・交流を促進し、回遊する来街者の増加につなげるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】三軒寺前広場活用イベント事業

【事業実施時期】	平成 14 年度～		
【実施主体】	伊丹市中心市街地活性化協議会		
【事業内容】	三軒寺前広場でマルシェイベント、元気をテーマにしたイベント等を開催する。		
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）	
	【目標指標】	中心市街地 4 エリアにおける 1 日あたりの流動人口（4 エリア合計）	
	【活性化に資する理由】	市内外から来街者を呼び込み、賑わいの創出を図るために、三軒寺前広場にて飲食や物販など魅力ある商品の販売及び野外演奏を行うマルシェイベントや、「元気」をテーマにしたイベントを近隣のイベントに合わせて実施するなど、市内外からの集客を図ることで、来街者の増加につなげるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】伊丹郷町屋台村の開催

【事業実施時期】		平成 23 年度～	
【実施主体】		伊丹郷町商業会	
【事業内容】		年 2 回（夏・冬）定期的に三軒寺前広場で屋台での飲食イベントを開催する。	
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 付 け 及 び 必 要 性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）	
	【目標指標】	中心市街地 4 エリアにおける 1 日あたりの流動人口（4 エリア合計）	
	【活性化に資する理由】	中心市街地の商店主が区域内の三軒寺前広場で毎年、夏と冬に 3 日間ずつ屋台を出店する。各店舗趣向を凝らした屋台が設置され、多くの人でにぎわうことで、来街者の増加につなげるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】ジュエリー展示・販売事業

【事業実施時期】		平成 27 年度～	
【実施主体】		伊丹ミュージアム運営共同事業体、中心市街地各商店街など	
【事業内容】		旧工芸センタージュエリーカレッジ修了生による、中心市街地内でのイベントにおけるジュエリーの展示・販売を行う。	
置 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 付 け 及 び 必 要 性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）	
	【目標指標】	「中心市街地 4 エリアにおける 1 日あたりの流動人口（4 エリア合計）」及び「文化施設等利用者数」	
	【活性化に資する理由】	工芸センターが実施していたジュエリーカレッジの修了生により作成された、オリジナルジュエリーをまちなかのイベントや「市立伊丹ミュージアム」等で展示・販売することにより、文化施設とまちなかの連携を図り、来街者の増加につなげるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 アリフリ事業の開催

【事業実施時期】	平成 19 年度～	
【実施主体】	アリオ名店会	
【事業内容】	商店街主催のフリーマーケットを開催する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）
	【目標指標】	中心市街地 4 エリアにおける 1 日あたりの流動人口（4 エリア合計）
	【活性化に資する理由】	JR 伊丹駅近くのアリオ名店会主催によるフリーマーケットを開催する。有岡城跡の史跡公園で実施し、フリーマーケットだけでなく、商店街のブースも設置し、商店街や個店を PR することにより、リピーターや新規顧客の獲得を目指し、来街者の増加につなげるため。
【支援措置名】		
【支援措置実施時期】		【支援主体】
【その他特記事項】		

【事業名】 鳥瞰絵図の作成

【事業実施時期】	平成 22 年度～	
【実施主体】	伊丹酒蔵通り協議会、アリオ名店会、各商店街	
【事業内容】	商店街等が鳥瞰図で表した観光マップを作成する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）
	【目標指標】	中心市街地 4 エリアにおける 1 日あたりの流動人口（4 エリア合計）
	【活性化に資する理由】	JR 伊丹駅から三軒寺前広場までの周辺の店舗、事業所などを立体的に紹介し、作成した観光マップ「JR 伊丹駅前鳥瞰絵図」の普及・拡大を図ることにより、まちのイメージアップを図り、来街者の増加につなげるため。
【支援措置名】		
【支援措置実施時期】		【支援主体】
【その他特記事項】		

【事業名】 中心市街地まち歩き事業

【事業実施時期】		平成 28 年度～	
【実施主体】		いたみアピールプラン推進協議会など	
【事業内容】		中心市街地名所や店舗を回遊するウォーキングイベントを開催する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）	
	【目標指標】	中心市街地 4 エリアにおける 1 日あたりの流動人口（4 エリア合計）	
	【活性化に資する理由】	中心市街地で作られている様々なマップを活用し、寺社仏閣や酒蔵、商店街などを回遊するウォーキングイベントを開催する。このことにより、まちの魅力を PR するとともに、商店街や個店をアピールし、リピーターや新規顧客の獲得を目指すことで、来街者の増加につなげるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 日本酒の日記念イベントの開催

【事業実施時期】		平成 16 年度～	
【実施主体】		伊丹酒造組合、伊丹市など	
【事業内容】		清酒発祥の地 PR のため日本酒の日にイベントを開催	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）	
	【目標指標】	中心市街地 4 エリアにおける 1 日あたりの流動人口（4 エリア合計）	
	【活性化に資する理由】	伊丹が「清酒発祥の地：伊丹」をアピールしていることもあり、10 月 1 日の日本酒の日に中心市街地で清酒を PR するイベントを開催し、中心市街地のにぎわいを創出することで、来街者の増加につなげるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】文化財ガイド事業

【事業実施時期】	令和4年度～		
【実施主体】	伊丹市文化財ボランティアの会、教育委員会（文化財担当）		
【事業内容】	中心市街地内の歴史資源を巡るまちあるき事業を開催する。		
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）	
	【目標指標】	中心市街地4エリアにおける1日あたりの流動人口（4エリア合計）	
	【活性化に資する理由】	伊丹市教育委員会・市民団体である伊丹市文化財ボランティアの会が伊丹郷町の歴史資源を紹介するまちあるき事業を実施することで、来街者の増加につなげるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】ワンデーウォーキングの開催

【事業実施時期】	平成19年度～		
【実施主体】	いたみアピールプラン推進協議会、伊丹市		
【事業内容】	伊丹の地域資源を巡るウォーキングイベントを開催する。		
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）	
	【目標指標】	中心市街地4エリアにおける1日あたりの流動人口（4エリア合計）	
	【活性化に資する理由】	都心部では珍しく「美しい日本の歩きたくなるみち500選」に選ばれた「伊丹・水と緑とバラの道」を巡り、伊丹の自然・歴史資源等を再発見する散策イベントを開催し、周辺の店舗・施設とのタイアップにより、中心市街地の集客を図ることで、来街者の増加につなげるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】夜間景観形成事業

【事業実施時期】		平成 18 年度～	
【実施主体】		伊丹酒蔵通り協議会、民間事業者、伊丹市	
【事業内容】		伊丹郷町のライトアップ事業を開催する。	
の 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 付 け 及 び 必 要 性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）	
	【目標指標】	中心市街地 4 エリアにおける 1 日あたりの流動人口（4 エリア合計）	
	【活性化に資する理由】	中心市街地の沿道におけるライトアップや、沿道の商業者、住民が主体となったライトアップに合わせた夜間イベントの実施などを引き続き行い、交流人口の増加を図ることで、来街者の増加につなげるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】センターフェスティバルの開催

【事業実施時期】		平成 2 年度～	
【実施主体】		センターフェスティバル実行委員会、伊丹市	
【事業内容】		市内共同利用施設等での市民活動の総合文化祭を開催する。	
置 活 性 化 を 実 現 す る た め の 位 置 付 け 及 び 必 要 性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）	
	【目標指標】	「中心市街地 4 エリアにおける 1 日あたりの流動人口（4 エリア合計）」及び「文化施設等利用者数」	
	【活性化に資する理由】	市内に 70 箇所以上ある共同利用施設等で行われている歌や踊り、絵画などの市民活動の発表の場として、毎年中心市街地のホールでフェスティバルを開催し、文化施設等利用者数の増加につなげるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】商学連携推進事業

【事業実施時期】	平成 15 年度～		
【実施主体】	近隣高等学校・近隣大学、中心市街地各商店街		
【事業内容】	商店街を活用したイベントの実施等商学連携を推進する。		
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）	
	【目標指標】	中心市街地 4 エリアにおける 1 日あたりの流動人口（4 エリア合計）	
	【活性化に資する理由】	市内の高校や大学、近隣市の大学と連携して中心市街地活性化イベントや商店街への誘客を高める事業を推進することで、多様な世代の取り込みを図ることで、来街者の増加につなげるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】まちゼミ開催事業

【事業実施時期】	平成 24 年度～		
【実施主体】	図書館、商店街など		
【事業内容】	市民等向けの中心市街地商店主による各種講座を実施する。		
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）	
	【目標指標】	中心市街地 4 エリアにおける 1 日あたりの流動人口（4 エリア合計）	
	【活性化に資する理由】	活性化に大きな効果があると言われる「まちゼミ」事業を開催することで、商店主が自店の専門的ノウハウ等を市民などに教えることにより、ファンを獲得することにより、来街者の増加につなげるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			



【事業名】宿泊施設活性化事業

【事業実施時期】	平成 20 年度～	
【実施主体】	伊丹シティホテル、中心市街地各商店街、伊丹市など	
【事業内容】	中心市街地に位置する伊丹シティホテルとの連携による活性化事業を実施する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）
	【目標指標】	中心市街地 4 エリアにおける 1 日あたりの流動人口（4 エリア合計）
	【活性化に資する理由】	中心市街地 4 極の南に位置し、宿泊だけでなく、飲食・ウェディングなど種々の事業で活性化に寄与している伊丹シティホテルにおいて、夏の盆踊りや冬のクリスマスイベント、バレンタインフェアなど、さまざまなイベントを開催し、中心市街地に賑わいを創出することで、来街者の増加につなげるため。
【支援措置名】		
【支援措置実施時期】		【支援主体】
【その他特記事項】		

【事業名】大規模商業施設連携促進事業

【事業実施時期】	平成 19 年度～	
【実施主体】	イオンモール伊丹、商工会議所、伊丹市	
【事業内容】	イオンモール伊丹と中心市街地商店街の連携を図る。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）
	【目標指標】	中心市街地 4 エリアにおける 1 日あたりの流動人口（4 エリア合計）
	【活性化に資する理由】	中心市街地の東に隣接するイオンモール伊丹は子育て世代を中心に多くの来客があり、大きな集客施設となっている。このイオンモール伊丹と中心市街地の商店街が連携することにより、中心市街地へ誘客、回遊させる取り組みを行い、回遊性の向上及び交流人口の増加を図ることで、来街者の増加につなげるため。
【支援措置名】		
【支援措置実施時期】		【支援主体】
【その他特記事項】		

【事業名】地場野菜の朝市開催事業

【事業実施時期】	平成 19 年度～		
【実施主体】	JA 兵庫六甲、シルバー人材センター、伊丹市		
【事業内容】	市内で生産された新鮮な野菜等を販売する朝市の開催		
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）	
	【目標指標】	中心市街地 4 エリアにおける 1 日あたりの流動人口（4 エリア合計）	
	【活性化に資する理由】	三軒寺前広場において開催されている、シルバー人材センターによる地場野菜の朝市について、JA 兵庫六甲の協力を得て、開催回数を増加し、中心市街地の集客の強化や回遊性の向上を図ることで、来街者の増加につなげるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】音楽による活性化事業

【事業実施時期】	平成 18 年度～		
【実施主体】	（公財）いたみ文化・スポーツ財団、民間飲食店など		
【事業内容】	プロジェクト「伊丹オトラク」の拡充・推進		
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）	
	【目標指標】	中心市街地 4 エリアにおける 1 日あたりの流動人口（4 エリア合計）	
	【活性化に資する理由】	市内の飲食店等と連携し、食事を楽しみながら、観客もアーティストも一緒になって音楽を楽しむプロジェクト、（公財）いたみ文化・スポーツ財団主催の「伊丹オトラク」を引き続き開催し、中心市街地のにぎわいを創出し、交流人口の増加を図ることで、来街者の増加につなげるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 商店街等・商業施設連携促進事業

【事業実施時期】	平成 20 年度～		
【実施主体】	中心市街地各商店街、商業施設、伊丹市など		
【事業内容】	複数の商店街や商業施設が連携した事業を推進する。		
の位置付け及び必要性	【目標】	点から面へのつながりが、新たな価値を創造する郷町（まち）	
	【目標指標】	中心市街地における 1 階空き店舗数	
	【活性化に資する理由】	中心市街地内の商店街等が連携して行う、共通フェア、ポイントカード導入、イベント開催などを促進し、利用者の利便性の向上や商業のにぎわいを創出することで、中心市街地の空き店舗数の減少につなげるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 地域ポータルサイト活用情報提供事業

【事業実施時期】	平成 20 年度～		
【実施主体】	各商店街、伊丹市		
【事業内容】	地域ポータルサイトを活用して情報発信を行う。		
の位置付け及び必要性	【目標】	点から面へのつながりが、新たな価値を創造する郷町（まち）	
	【目標指標】	中心市街地における 1 階空き店舗数	
	【活性化に資する理由】	平成 20 年に開設された伊丹市の地域ポータルサイト「いたみん」を活用して店舗等の情報を発信し、PR に努め、商業のにぎわいを創出することで、中心市街地の空き店舗数の減少につなげるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】インバウンド推進事業

【事業実施時期】		平成 28 年度～	
【実施主体】		伊丹市、酒造会社、商店街、個店など	
【事業内容】		外国人の来街者向け事業を実施する。	
置付け及び必要性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）	
	【目標指標】	中心市街地 4 エリアにおける 1 日あたりの流動人口（4 エリア合計）	
	【活性化に資する理由】	本市を訪れる外国人が増える中、本市のブランドである「清酒」や和食などを PR する。また、中心市街地での滞在時間を延ばし、回遊しやすいコース設定や兵庫県と連携したモデルコースの PR など、リピーターや新規顧客の獲得を目指す。また、観光 Wi-Fi や多言語案内板など設え整備、外国人向けの HP 開設、リーフレットの作成など、迎えるための環境を整備することで、来街者の増加につなげるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】文化施設連携事業 ※再掲

【事業実施時期】		平成 20 年度～	
【実施主体】		（公財）いたみ文化・スポーツ財団、伊丹市	
【事業内容】		文化施設同士が連携した事業を実施することで有機的連携を図る。	
け及び必要性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）	
	【目標指標】	「中心市街地 4 エリアにおける 1 日あたりの流動人口（4 エリア合計）」及び「文化施設等利用者数」	
	【活性化に資する理由】	本市の中心市街地にある個性的で特色ある文化施設において、統一パンフレットの作成など連携した情報発信や社会教育施設（図書館等）や中心市街地商店街等とのタイアップやスタンプラリー、文化施設で鑑賞した公演チケットを提示すると対象店舗でサービスが受けられる「鑑賞で de 寄っとク！itami」の実施など、有機的な連携を図ることで、文化施設利用者数及び来街者の増加につなげるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 創業塾の開催

【事業実施時期】	平成 18 年度～		
【実施主体】	伊丹商工会議所、伊丹市		
【事業内容】	創業を考えている方対象に具体的にノウハウを伝える塾を開催し、市街地内における創業支援につなげる		
の位置付け及び必要性	【目標】	点から面へのつながりが、新たな価値を創造する郷町（まち）	
	【目標指標】	中心市街地における 1 階空き店舗数	
	【活性化に資する理由】	創業準備中の方や、将来、起業を考えている方誰もが参加できる創業塾や、女性だけを対象にした女性創業塾を開催し、開業に向けてサポートし、商業の担い手を育成することで、中心市街地の空き店舗数の減少につなげるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 シティプロモーション事業 ※再掲

【事業実施時期】	平成 27 年度～		
【実施主体】	伊丹市		
【事業内容】	総合的、戦略的にまちの魅力を発信する。		
の位置付け及び必要性	【目標】	あらゆる人に、安全・安心・快適を提供する郷町（まち）	
	【目標指標】	中心市街地における居住人口（社会増減数）	
	【活性化に資する理由】	対象を子育て世代に特化した「住みたいまち伊丹」、清酒文化を伝える「清酒発祥の地伊丹」など、ターゲットを絞った、戦略的なシティプロモーションを推進することにより、「まちの魅力」を「戦略的・効果的に」発信することで、中心市街地の定住人口の増加につなげるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 エリアマネジメント促進事業 ※再掲

【事業実施時期】	令和4年度～		
【実施主体】	伊丹市中心市街地活性化協議会、伊丹まち未来(株)、伊丹商工会議所、伊丹市、商業者組織など		
【事業内容】	空き店舗等遊休不動産を活用した事業に取り組むことで各エリアの価値向上につなげる。		
の位置付け及び必要性	【目標】	点から面へのつながりが、新たな価値を創造する郷町（まち）	
	【目標指標】	中心市街地における1階空き店舗数	
	【活性化に資する理由】	中心市街地活性化協議会、不動産事業者、伊丹まち未来(株)、商工会議所、住民、商業者組織等が協働・連携し、空き店舗等遊休不動産を活用した事業に取り組むことで各エリアの価値向上につなげ、中心市街地の空き店舗数の減少につなげるため。	
【支援措置名】	中心市街地商業活性化診断・サポート事業		
【支援措置実施時期】	令和4年度～令和8年度	【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】 人材発掘・コミュニティ事業

【事業実施時期】	令和4年度～		
【実施主体】	伊丹市中心市街地活性化協議会		
【事業内容】	まちづくりの担い手を育成する。		
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）	
	【目標指標】	中心市街地4エリアにおける1日あたりの流動人口（4エリア合計）	
	【活性化に資する理由】	中心市街地のまちづくりに関心を持つ人材をサポートとして登録し、各事業の企画立案から実施まで参画させる等担い手として育成することで、来街者の増加につなげるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			

【事業名】男女共同参画センター事業

【事業実施時期】	令和2年度～	
【実施主体】	伊丹市、NPO 法人女性と子どものエンパワメント関西	
【事業内容】	商工プラザの「男女共同参画センター」で市民活動・交流支援事業等を実施する。	
の位置付け及び必要性	【目標】	あらゆる人に、安全・安心・快適を提供する郷町（まち）
	【目標指標】	中心市街地における居住人口（社会増減数）
	【活性化に資する理由】	男女共同参画の拠点施設「男女共同参画センターここいろ」において、市民活動・交流の支援事業や各種相談、啓発事業、情報提供を行い、性別にかかわらず全ての人が安心して地域社会で生き生きと暮らせるまちの実現を目指し、来街者の増加及びまちの定住人口の増加につなげるため。
【支援措置名】		
【支援措置実施時期】		【支援主体】
【その他特記事項】		

【事業名】賑わいのある道路空間創出事業 ※再掲

【事業実施時期】	令和4年度～	
【実施主体】	伊丹市、伊丹市中心市街地活性化協議会、商店街等	
【事業内容】	道路空間を活用したオープンカフェやイベントブース等中心市街地の賑わいづくりや歩行者等の回遊性を高める。	
の位置付け及び必要性	【目標】	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）
	【目標指標】	中心市街地4エリアにおける1日あたりの流動人口（4エリア合計）
	【活性化に資する理由】	道路空間を活用したベンチの設置、オープンカフェやイベントブースの設置等を検討し、中心市街地の賑わいづくりや歩行者等の回遊性を高めることで、来街者の増加につなげるため。
【支援措置名】		
【支援措置実施時期】		【支援主体】
【その他特記事項】		

【事業名】多文化共生・平和推進事業

【事業実施時期】	令和元年度～		
【実施主体】	伊丹市国際・平和交流協会、伊丹ユネスコ協会、伊丹市など		
【事業内容】	中心市街地内の文化施設等において、多文化共生・平和推進イベント等を実施		
け 及 び 必 要 性	【目標】	あらゆる人に、安全・安心・快適を提供する郷町（まち）	
	【目標指標】	中心市街地における居住人口（社会増減数）	
	【活性化に資する理由】	市民団体等と連携し、多くの人に参加しやすい中心市街地の施設等において、外国人等も参加する多文化共生推進のイベント（交流・啓発イベント、日本語教室、講演会、展示等）や、平和推進のための事業（展示、カリヨン演奏会等）を実施することで、民族、国籍等の異なる市民が触れ合い、共に認め合って暮らせる、多様性と活力ある共生と平和のまちの実現を目指し、来街者の増加及びまちの定住人口の増加につなげるため。	
【支援措置名】			
【支援措置実施時期】		【支援主体】	
【その他特記事項】			